

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 田中建設 株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		社内での全体会議・監督会議により経営理念を従業員に説明している。 中・長期の経営目標を従業員に説明し、目標達成へ各従業員で内容を検討して取り組んでいる。								8	9													17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則に記載してある服務規律とその都度変更などがあつた法令を個別面談時に説明している。																						16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		会社として公正な取引に努め、仕入先を担当者と社長でチェックし、不正な取引がおこなわれていないかを監視している。																				10					16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		受注した工事の内容などについて、社長が工事担当者と地域における影響を工事着手前に検討し、その都度対応するようにしている。																								16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		工事の請負契約書に知的財産に関する項目を規定している。 就業規則にも同様の項目を入れ、従業員へ周知している。												8.2		9												
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		インターネット等での外部への接続には専門業者を介しセキュリティを万全に行い、パソコン・USB等の社外持ち出しを禁止している。 従業員の個人情報は決められた担当者しか閲覧できないようにしている。																								16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		工事着手前には工事発注者、工事地区の区長、隣接住民との立会を行い、意見のすり合わせを通じて、良好な現場環境、スムーズな工事進行に務めるようにしている。																								16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5						8		10						12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																		9		11				13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		事業の中長期計画に沿って、株式の譲渡や後継者の選定・育成に取り組んでいる。																8		9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2										8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防く体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則に各種ハラスメントの禁止項目を定めて運用している。 従業員雇用では年齢制限を行わず、性別及び国籍に関係なく採用している。					4.3		5.1				8.5		10.2											16.1	16.2	16.7
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		工事現場での月1回の安全訓練、新規入場者教育、毎日の危険予知活動を通じて、安全で衛生的な労働環境の整備を行っている。社内パトロールを定期的に実施して工事現場内の不備がないかをチェックしている。						3					8.8															
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		同一労働同一賃金を取り込んだ賃金規定を作成し運用している。								5.5				8.5		10.2												10.3
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		有給の消化管理を行い、家庭の環境に応じた介護及び育児休暇(有給)を設定している。部署内での調整後の申請であれば必ず許可している。							3					8.5		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		建設業協会等を通じて研修連絡があれば積極的に参加している(費用会社負担)。会社として通信研修や工事に役立つ資格試験は積極的に受けさせている。(費用会社負担)								4		5.5		8		9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年1回の健康診断に加え、血圧計、体温計を会社に設置している(従業員専用)。持病などによる通院には最優先で応じている。											3		8													17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		性別・国籍・年齢による差別的な格差はない。全て資格や経験年数及び能力により賃金差をつけている。希望すれば全ての職種に配置換えを適正や能力をもとに検討するようにしている。						4.4		5.1				8.5		10.2										16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー会議を導入している。	●		対外の会議はWEB(ZOOM)を活用している。時差出勤は現場と事務所で実施、各現場や事務所でも状況により柔軟に対処するように務めている。事務所は常時窓開けをし、入口での消毒液設置を行っている。											3				8		9.1		11		12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		社内LANを構築してデータのやり取りなどを効率化している。測量機器の導入などによりデータの電子化を行い業務を効率化している。対外的な手続きはできるだけ電子化するように推進している。																8		9.1		11		12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●																			8				9					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 田中建設 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		マニフェスト伝票による工事現場での廃棄物管理を徹底させている。事業所で発生した廃棄物は外部委託により処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		工事現場に設置する安全施設はソーラー電池型を設置している。 【予定】令和5年4月までに簡易計算シートを用いて自社のエネルギー使用量を把握する。							7.3							13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		【予定】令和5年4月までに簡易計算シートを用いて自社の温室効果ガス排出量を把握する。 【予定】令和5年2月までに社用車をEV車へ変更(1台)		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		工事施工時にオイルフェンス等を設置して生態系に影響しないように配慮している。特定外来生物などは排除して緑化などにより現存している生物に配慮している。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		電子化等によるペーパーレス化と裏紙使用、再生紙使用を推進している。									9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		事務所内では節水に取り組んでいる。河川の工事現場では水質を汚さないように工法等の工夫や配慮に取り組んでいる。		2.4				6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		事務用品などはリサイクル認定商品を積極的に使用するよう取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所の壁面緑化や植栽に取り組んでいる。各種団体の緑化事業に参加している。(緑川漁協主催の緑化事業等)												11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		工事現場で使用する重機は最新の排気ガス規制対応機種を選定するよう取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5				13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		関係会社所有の山林の間伐・下刈等に参加している。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		社用車にはEV車を導入するようになっている。 【予定】令和5年2月までに社用車としてEV車を導入(1台)										9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 田中建設 株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		工事に使用する資材等には社内管理規定を設定し、工事の安全性と品質確保に努めている。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		会社内では段差をなくし、靴を脱がずに事務所で作業できるように床を変更している。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・産地地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	工事現場で使用する木材は熊本県産材の使用に努めている。他資材も地元企業を最優先で採用するようにしている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1			15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15				17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		美里町から消防団協力事業所の認定を受けている。熊本県及び美里町と災害協定を締結しており、有事には対応している。ロードクリーンボランティアや漁民の森づくりに参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。地域の危険箇所を把握し、災害に対処出来るようにしている。				4							11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	美里町の消防団協力事業所の認定を受けている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	建設業協会を通じて地域の高校生インターンシップの受け入れを行っている。学校等と連携し出前授業や重機の試乗体験などを行っている。				4				8.6		10.2									17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4				8.5 8.6												17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15				17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。